島 原 市 長

古 川 隆三郎　様

要　　望　　書

島原市営平成町人工芝グラウンドＢコート(海側)
の人工芝張り替えの早期着工について

令和３年 12 月７日

一般社団法人　長崎県サッカー協会

島原市サッカー協会

島原市営平成町人工芝グラウンドＢコート(海側)の人工芝張り替えの早期着工について

本協会の事業運営につきましては、日頃からご配慮を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、島原市におかれましては、長崎県のサッカーを牽引する地として、サッカーと言えば島原市と言われており、数々の長崎県大会・九州大会はもとより、国民体育大会をはじめとした全国レベルの大会が開催される聖地となっております。

その開催会場の中でも島原市営平成町人工芝グラウンドは、島原市から指定管理を受け、本協会で運営をさせていただき、大会誘致等利用促進に努め、ピーク時には年間 10 万人を超える利用関係者があるところであります。

そのような中、令和２年にＡコート(山側)の人工芝張り替えを実施していただきました。心から感謝申し上げます。

しかしながら、当グラウンドは供用開始から令和３年度末で 10 年を経過することとなり、人工芝の耐用年数 10 年を迎えることとなります。

現在、人工芝張り替え未着工のＢコート(海側)の状況は、全体的に人工芝が摩耗し、滑りやすく、特に、プレー頻度が高いゴール前やタッチライン付近では、摩耗が激しく非常に危険な状況にあり、また、ラインも認識しづらくなっており、全国、九州規模の大会を運営する主催者側からは使用を控えたいとの指摘を受けるケースがあっております。

つきましては、更に、多くの大会が開催される聖地として賑わいのある島原市となるよう、島原市営平成町人工芝グラウンドＢコート(海側)の人工芝の張り替えの早期着工について、特段のご配慮を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

令和３年 12 月７日

島原市長
古　川　隆三郎　様

一般社団法人　長崎県サッカー協会
会長　　殿　村　育　生

島原市サッカー協会
会長　　髙　見　彰　久